

計量フェアかながわ2003を開催
横浜、小田原の2会場で約8000人が参加

(社)神奈川県計量協会
は、11月1日の計量記念
日の意義を強調するた
め、計量フェアかなが
わ2003実行委員会を
設置し、一般県民に対
し計量思想の普及・啓
蒙を図った。本年は、
下河内県商工労働部長が
1日の横浜会場を視察、一般県民と並び体脂肪率、骨健康度、キャンデーの重さなどにクイズなどに挑戦、例年ない盛り上がりを見せた(写真)。今年度は「真」の「横浜」地区以外に新たに「小田原地区」(8日)でも開催。主な事業内容は次

特集 神奈川 316号

- 助率、骨健康度、キャンデーの重さなどにクイズなどに挑戦、例年ない盛り上がりを見せた(写真)。今年度は「真」の「横浜」地区以外に新たに「小田原地区」(8日)でも開催。主な事業内容は次

①主催：(社)神奈川県計量協会
②後援：神奈川県計量協会、横浜市計量検査所、小田原市、日本小型自動車振興協会
③協賛企業：順不同
(株)オーバル横浜事業所、住友電気工業(株)横浜製作所、日産自動車(株)メジャーテックツルミ(株)東立機工(株)高島屋横浜店(株)そごう横浜店(株)京急百貨店(株)伊勢丹相模原店(株)さいか屋、東芝ライテック(株)、(株)タツノ・メカトロニクス、横浜工場、浅井メーター、(株)櫛田機器製作所、(株)東京芝浜事業所、(株)日立コミュニケーションテクノロジ、(株)日立製作所情報・通信グループ、(株)日立製作所RAIDシステム事業

④催事内容：計量普及啓発パネル展示、体脂肪率測定、骨強度測定、キャンデーの目方当てクイズ、ジャンボ菓子の重さ当てクイズ、音当てクイズ等
⑤見学者：参加者：横浜会場(延べ約5800名)、キャンデーの目方当て：約1800名、ジャンボ菓子の重さ当て：約900名、体脂肪率測定：約1200名、骨健康度測定：約1200名、音当てクイズ：約700名、小田原会場(延べ約2050名)、キャンデーの目方当て：約600名、ジャンボ菓子の重さ当て：約250名、体脂肪率測定：約600名、骨健康度測定：約600名

計量関係団体
詞交歓会の予定
(社)神奈川県計量協会
は、県内計量団体合同による平成16年新年賀詞交歓会を次のとおり開催。

(社)神奈川県計量協会
http://www11.ocn.ne.jp/keiryoku-1/
成16年1月15日(水)午後2時
会場：ホテルキャメロットトジャパン(旧・ホテルリッツ横浜)横浜市西区北幸1-11-3、JR横浜駅西口徒歩5分

計量管理研究会
役員会を開催予定
(社)神奈川県計量協会
は、平成15年度技術講習会を次の通り開催する。

神奈川県計量士会
技術講習会 12月5日
(社)神奈川県計量士会
は、平成15年度技術講習会を次の通り開催する。

登録と指定
【登録】計量証明事業
【指定】適正計量管理
(株)住重環境分析センター
(株)住重環境分析センター
(株)住重環境分析センター



計量関係功労者表彰に浴して
(有)田中屋代表取締役社長 鈴木清次
さる十一月四日、国立京都国際会館にて開催の計量記念日全国大会の席上、経済産業大臣より計量関係功労者として表彰を受け、身に余る光栄と感激している。

大臣表彰
優良適正計量管理事業所表彰を授与
(株)さいか屋川崎店

社会構造の変化や環境変化にともない、お客様消費嗜好はますます多様化し、マスから個へと

が正量でなければならぬのは、当然であり、し

の勢いが強まっています。こうした商業環境の中、さいか屋は、永年培ってきた信用を命として、親しみのある地域ナンバー1の文化的ランドマーク

適正計量管理事業所の指

の役割を果たして参ります。

神奈川県計量士会
会が例会 12月17日

神奈川県計量士会が例会
12月17日
神奈川県計量士会は例

全国一斉量目立入検査予定

神奈川県
期間 11月25日から12月20日までのうち12日間
実施地区 特定市を除く県内一円

大和市が計量管理事務所実態調査を予定
計量記念日及び計量管理強調期間にちなみ、計量思想の普及活動を展開し、一層の計量意識の向上を図るため、11月26日に日本ビクター(株)大和工場事業所の実態調査を予定。
13日 27日
川崎市 平成16年1月10日 28日
横須賀市 平成16年2月2日 10日
指定場所(集合) 検査三浦市 平成16年3月1日 9日
逗子市 平成16年3月10日 12日
環境計量証明用計量器検査 pH計 平成16年2月16日 20日 騒音・振動計 平成16年3月15日 26日

横浜市が商品量目立入検査を実施中

横浜市では、適正計量管理事業所を含む百貨店、スーパーへの立入検査を10月から平成16年1月にかけて実施。

日(木)までの7日間 受検事業者数 13事業者 検査台数 31台 不合格数 0台

米穀販売事業者の立入検査を実施

神奈川県は、米穀販売事業者の立入検査を実施した。結果は次のとおり。
実施期間 9月29日、10月7日までのうち7日間
実施地区 海老名市、座間市及び綾瀬市



大型検査用車を更新

神奈川県は、大型検査用車を更新した。
本車両は三菱ふそうスーパーグレート(KLFT50JLXT1A)をベース車両に、前車同様にシャシーへ必要な装置類を架装し改造を行った特殊車両である。なお、当県ではこの特殊車両を昭和53年から使用しているが今回の車両で3台目となる。

「発想の転換」ということ

(社)神奈川県計量協会専務理事・事務局長 西川 幾之進

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

大和市が計量管理事務所実態調査を予定

計量記念日及び計量管理強調期間にちなみ、計量思想の普及活動を展開し、一層の計量意識の向上を図るため、11月26日に日本ビクター(株)大和工場事業所の実態調査を予定。
13日 27日
川崎市 平成16年1月10日 28日
横須賀市 平成16年2月2日 10日
指定場所(集合) 検査三浦市 平成16年3月1日 9日
逗子市 平成16年3月10日 12日
環境計量証明用計量器検査 pH計 平成16年2月16日 20日 騒音・振動計 平成16年3月15日 26日

厚木市が立入検査を実施

厚木市は、ガス事業者、水道事業者、計量事業者の立入検査を実施した。結果は次のとおり。
実施期間 10月8日、22日(延べ5日間) 検査件数 12件
ガス事業者 2件 不適正件数 0件
水道事業者 10件 不適正件数 0件
計量事業者 0件 不適正件数 0件

平塚市が立入検査を実施

平塚市は、米穀販売事業者の立入検査を実施した。結果は次のとおり。
実施期間 9月25日、26日 実施地区 平塚市中部
検査戸数 9戸
不適正戸数 0戸 計量器検査台数 12個 同不適正台数 0個

大和市が立入検査を実施

大和市は、ガソリンスタンド、石油ガスメーター、米穀販売店、計量事業者(お茶)の立入検査を実施した。
実施期間 9月3日、5日、8日、19日までのうち4日間
検査戸数 5戸
不適正戸数 0戸
計量器検査台数 15個 同不適正台数 0個

厚木市が立入検査を実施

厚木市は、ガス事業者、水道事業者、計量事業者の立入検査を実施した。結果は次のとおり。
実施期間 10月15日
検査戸数 1戸 検査台数 1個 不適正台数 0個

茅ヶ崎市が立入検査を実施

茅ヶ崎市は、燃料油メーター(ガソリンスタンド)、石油ガスメーターの立入検査を実施。結果は次のとおり。
実施期間 10月22日、23日
検査戸数 4戸 不適正戸数 0戸
燃料油メーター検査台数 21個 不適正台数 0個

わが街 大和市の今昔



私たちの大和市に、富士の鷹狩は、面白い伝説があり、鶴が舞っています。それは鎌倉時代の初期、源頼朝が家来の土地を「鶴舞の里」と名づけたといわれています。市内には小田急線「鶴間駅」の「鶴間」また、「鶴間」と「下鶴間」という字名として残っています。市としても、歴史資料館を「鶴舞の里歴史資料館」と名づけるなど、歴史的な建築物などがない大和市にあって、市民に歴史のロマンを想像させたといえるものとなっています。資料館は、日本旧石器時代研究史上有名な月見野遺跡群の中にあり、日本最古の土器が発見された上

野遺跡第1地点の資料等が展示されています。夏が暑さを吹き飛ばすように、跳んだりはねたり威勢のよい踊りや汗びっしょりで行われる大会は、県下で「にわか連」には毎年、参加人数が増えています。ぜひ来年は踊りに参加してみませんか。
つる舞の歴史資料館(つきみ野) 3
市役所職員からなる「のぎく連」も、平成27年、8年から参加し、下手3633

お知らせ

この特集は神奈川県計量協会の会報に代わるものとして、日本計量新報社のご協力を得て隔月発行し、全会員に配布しています。
(社)神奈川県計量協会
☎045-401-4420

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

「改革」の言葉がマスコミなどで連日のように報道され、まさに氾濫の様相を呈している。古いシステムを改善、改良、新しいシステムへ絶えず転換していくことは、活力ある社会を形成していくうえに必要不可欠である。むしろそれをしない

品質工学の計測管理への 適用と課題(2)

計量士 阿知波正之

3、計測器の校正技術

計測器の校正について JIS Z 9009 測定校正方式通則¹⁾では、(a)点検だけの校正、(b)零点校正、(c)基準点校正、(d)目盛間隔校正、(e)零点比例式校正、(f)基準点比例式校正、(g)1次式校正の7種類の校正方式が定義されており、目的により校正方式が選定される。

私が計測管理の仕事に就いた最初の仕事は、指示電気計器の校正で、0.5級の電圧計、電流計を0.2級の標準電圧計と

準を計測器の使用現場へ供給し、使用者は使用前に基準点校正または2個のマスターゲージで目盛間隔校正をした後に、製品を測定します。マスターゲージの器差を現物に表

示し、計測器の校正値への調整を作業指導していましたが、実態は校正値の調整(補正)が難しく、また、プラスマイナスの誤認もあり、基準寸法に

対する許容差を小さくする必要がありました。国内大手計測器メーカーは基準寸法に対して5~8μm程度の差があっても、表示値で校正すればよいとの考え方で、許容差を小さくするとコスト

アップになるから難しいといわれました。一方、精密機械部品のメーカーでは±1μmの許容差

差で部品の製作が可能であったので、同メーカー

があるわけではなく、加工技術があれば、購入価格の上昇は僅かでした。

このような経験から、現場での複雑な校正は困難であり、可能な限り器差の少ない計測器または現物標準の供給が必要で、

現物標準は測定対象品の許容差に対応した限界値を定め、管理しています。

ロックゲージの校正は0.1μmの光学式比較器により標準ロックゲージとの一対一の比較測定で、比較器との脱めこの作業でした。1980年代の後年に、作

業の効率化を目的として、当時発売された測定範囲60mmの高分解能のデジタル測長器による測長方式の実用化を行いました。

この測長器の長さの絶対値はロックゲージ

とすることで湯阪道入を配るのが精いっぱい

計量の明日を拓く SANKO

株式会社 三光精衡所
〒125-0042 東京都葛飾区金町2-1-1
TEL. (03) 3607-2328

デジタル表示 アナログ表示

ハカルものならなんでもOK

電子ハカリ、ミリグラム、個数ハカリ、工業用、長さ計、温度計、デジタル体重計、体重計

からトン迄各種、家庭用ハカリ、気象機械、医療用車イス用デジタル

岩下度量衡株式会社

本社 〒101 0047 東京都千代田区内神田2 14 12 ☎03 3254 5991

可能性があったので、普及し始めたパソコンを使い、測定値を校正式で校正して使うことにしました。1mm、5mm、10mm、25mmの4個の標準ロックゲージを使用し、測長

器の測定結果を3つの1次式で校正し、103個組みロックゲージの内、25mmまでの100個は比較測定なしで測定できる校正システムを作りました。標準ロックゲージ及び対象ロックゲージの測定値の取り込み、1次式校正、結果の記録までの作業をパソコンでできるようプログラムを作成しました。この校正システムにより、校正時間を半減し、測定のばらつきも比較測定に比べ、小さくすることができました。当時SN比を求めするのに使われていた、1次式校正の効用を実感しました。

計測器の校正は標準を測定した結果から校正値とその不確かさが示されていますが、現物を測定

したときの校正は使用者任せで、使用者は校正について成す術もなく、検査と何ら変わっていない例が多いのです。適正な測定結果が得られるよう、校正方式の選定、適

用ができる校正技術が必要と思われまます。

(つづく)

「講座・計測技術から品質工学へ」は休載します。

(編集部)

特集 神奈川のつづき

平塚市が計量コーナーを開設

平塚市は、11月7日(金)から8日(土)までの2日間、平塚市立見附台体育館で開催された第44回平塚市産業まつりの消費生活展ブースに計量コーナーを開設した。2日間で1500人を超える人が計量コーナーを訪れ、重量当てクイズや騒音・体脂肪測定などにチャレンジした。



また、ポスター掲出による計量管理強調週間・計量思想の啓発も図った。



また、ポスター掲出による計量管理強調週間・計量思想の啓発も図った。

ふけはつばら

この花の話 この霜月に季節はずれもい

若葉してむせかえるよとこですが、話として聞いてやって下さい。

早苗月中の頃、箱根路を歩くことになった。箱根も少しは知っているつもりでも、独り歩きは全くできないので、今回もお供をして先達さんより以上に

楽しんできた。箱根湯本より少し登ったところ、もうこの辺は青葉若葉してむせかえるよとこですが、話として聞いてやって下さい。

ところがこの緑の森の中にひとときわさえた黄金色の花が目についた。今まで

あいに 黄金なる花 るとこの湯阪道入を配るのが精いっぱい

目おぼ疑う、町の人に 口で車を降りてより案い。それ故か下草ばかり

聞いたところ、あげふ 内板にしたがって、飛り目につく、それも

「と呼んでいるとい 龍の滝自然探勝歩道に 陰地に多い「うらしま

う。今年は花が咲き初 入った。

灌木の中、細い急坂 んしよう」それに菌類が多いのにびっくり

なで特に美しいのだ を下るばかりか先刻より 類が多いのにびっくり

り小雨まじりした。さき程より蜘蛛の霧で行の巣がよ顔にかかく手もはる。これは自分の年と

きりしな 天候とを考えて、もう

い。当然のこと行き交 引返した方がよいと

う人も全くなく寂しい の、危険信号かも知れ

限り、それにすべる坂 ないと思ったりした。

道を夢中で下る。どこ でも折角ここまでできて

から行く所の方が気に まで続くやら鶯が鳴い

なっていた。今日は飛 ているが、足もとが悪

いので転ばぬように気 ことに決めた。

山野草に魅せられて

押尾 寅松(計量士)



に美しい花を見つけた。濃くあさく

谷 龍の滝を案内してくれ

り上げたような美

気にとめず、私はこれ

道に夢中で下る。どこ

まで続くやら鶯が鳴い

なっていた。今日は飛

ているが、足もとが悪

いので転ばぬように気

ことに決めた。

り上げたような美

気にとめず、私はこれ

道に夢中で下る。どこ

まで続くやら鶯が鳴い

なっていた。今日は飛

ているが、足もとが悪

いので転ばぬように気

ことに決めた。

り上げたような美

気にとめず、私はこれ

道に夢中で下る。どこ

まで続くやら鶯が鳴い

なっていた。今日は飛

ているが、足もとが悪

いので転ばぬように気

ことに決めた。